

2019(令和元)年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一(堀ノ内)・第二(方南)

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

- ・自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
- ・毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
- ・やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

運営面では理事長、施設長のもと運営・経営を行い、各所に主任を配置、各職員への指示をすることで運営方針・事業計画がより明確になり、事業所間の機能が少しずつではありますが安定していきました。また令和元年度も職員の退職等入れ替わりがありましたが、一昨年度よりは安定し、現体制のもと利用者が事故なく元気に通所できる職場環境づくりを第一に考え、施設の運営を行ってきました。その為には職員の定着・人材の育成が重要であり、必要な研修会や諸行事への積極的な参加を行いました。会議体については、7月より理事長・副理事長、施設長で構成する三役会議の設置、3所の主任と理事長、施設長で構成する主任会議を毎週実施、現場の常勤・非常勤職員で構成する支援員会議、職員全員参加の職員会議を毎月行い、現場の意見を吸い上げ運営に生かしました。年度末にはご家庭向けに施設満足度調査を行いました。

職場の環境改善として第二方南に防犯カメラの設置を完了しました。経理面では賃金関係を除く経理をより明確化するため引き続き、税理士法人SVCに依頼、また労務関係を社会保険労務士オフィスもりたに依頼し、適切な会計と労務の調整を行いました。利用者の自主生産品として第一和泉はせんべい、第一堀ノ内はビーズ、第二方南はフェルト製品を中心に手織り手染め製品を確立し、本年度も順調に売り上げを伸ばしました。保護者についてはいずみ連絡会を年4回行い、その会を通じて保護者のご意見をお聞きし施設運営に反映しました。また、いずみだより(広報誌)やなかよし(予定表)の見直しを行い配布し、施設状況を細かく・わかりやすい情報発信を心掛けました。

今後の施設運営においては昨今の人材不足による将来の見通しを考慮しながら、利用される方の重度化や高齢化に伴う事業の在り方等、未来志向の事業所設立等の運

営について中長期的に検討する必要があると考えています。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

年2回の個別面談と三者面談に加え、3か月ごとのモニタリングを行うことで個別支援計画の進捗状況を確認し、利用者からその都度希望を聴いて計画に反映し支援を行いました。三者面談においては可能な限り相談支援事業所の担当者も同席いただき、四者面談のような形を取りました。面談時就労希望について確認しましたが、直近での就職の希望がなかったため、職場見学や実習等は行いませんでした。

(2) 施設機能の充実

利用者の休憩所の設置までには至りませんでした。

(3) 関係機関との連携

仕事ねっと会議、杉並区ネットワーク会議に参加することで杉並区内の作業支援・就労支援の情報を得て新たな販売先の開拓を行いました。杉並区内施設長会、障害の枠を超えた施設による会合、入所説明会、入所調整会議、サービス給付費説明会等に参加することで区内施設とのネットワークを構築しました。また、近隣の他法人が運営する「マングローブ」喫茶店に自主製品のせんべいをおかせていただくことになりました。また世田谷区砧工房分場キタミ・クリーンファームよりサラダ菜等の野菜を買い取り、毎週販売も継続し定着しました。

(4) 地域との連携

近隣町会の祭りに定期的に参加して交流を深めました。

(5) 人材育成

職員個別の研修計画「業務目標・成果シート」を作成し、年2回職員と施設長との個別面談においてその進捗状況を確認しました。シート作成により個人の業務目標が明確になり、育成の手助けになりました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

①名 称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電 話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電 話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③名 称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電 話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開 設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

①杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

②杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85 m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成 (令和2年3月31日現在)

常勤11名 非常勤19名 計30名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者 (施設長)	1 (兼務)		
サービス管理者	1 (兼務)		1 (兼務)
主任支援員	1	1	1
常勤支援員	2	1	1
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	5	4	5
事務局事務員	2 (兼務)		
事務局添乗員	3 (兼務)		

②職員人事

年 月 日	氏 名	職 種	事由	備 考
H31. 4. 1	伊藤 貴司	第一常勤支援員	採用	
H31. 4. 1	岡本 真由美	第一常勤支援員	採用	
R1. 7. 16	後藤 匠太	第一常勤支援員	採用	
R1. 7. 31	苗村 葉月	第一常勤支援員	退職	
R1. 8. 31	坂口 豪志	第一常勤支援員	退職	
R1. 10. 1	長岡 義之	第一常勤支援員	採用	
R1. 11. 14	笠谷 貴男	第一常勤支援員	退職	
R1. 12. 10	齧島 愛理	非常勤添乗支援員	採用	
R1. 12. 31	高野 明子	非常勤添乗支援員	退職	
R1. 12. 31	外川 麻子	第一非常勤支援員	退職	
R2. 3. 31	磯崎 まゆみ	第一非常勤支援員	退職	
R2. 3. 31	岡本 真由美	第一常勤支援員	退職	

(6) 利用者状況（令和2年3月31日現在）

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

- ・区内在住の、主に知的障害者のうち、就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者。
- ・就労移行支援事業を利用（暫定支給決定での利用を含む）した結果、B型の利用が適当と判断された者。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 67名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：（男性）45.9歳 （女性）45.0歳 （全体）45.6歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	2	11	3	6	10	11	43
女性	0	3	8	6	5	4	24
合計	2	12	11	12	15	15	67

③ 障害程度

愛 身障	身障						合計
	なし	1級	2級	3級	4級	5級	
2度	16	1	0	0	0	0	17
3度	24	1	0	0	1	2	28
4度	20	0	1	0	0	1	22
合計	60	2	1	0	1	3	67

④ 障害支援（程度）区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	1	7	13	13	7	3	5	0	49
第二	0	0	5	6	4	0	3	0	18
合計	1	7	18	19	11	3	8	0	67

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高 校・大学	就労	在宅	合計
第一	22	8	0	16	3	49
第二	11	4	1	2	0	18
合計	33	12	1	18	3	67

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	3	0	53	20	952	108	90%	79%
5	60	0	0	53	19	909	98	90%	75%
6	60	0	1	53	20	926	134	97%	75%
7	60	0	0	52	22	1056	88	92%	74%
8	60	0	0	52	21	946	146	87%	73%
9	60	0	0	52	19	900	88	91%	72%
10	60	0	1	51	21	969	102	90%	76%
11	60	0	0	51	20	906	114	89%	76%
12	60	0	0	51	20	894	126	88%	75%
1	60	0	0	51	19	862	69	93%	71%
2	60	0	2	49	18	795	110	90%	73%
3	60	0	0	49	21	888	142	86%	73%
合計	—	3	4	—	240	11,003	1,352	89%	74%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	1	0	18	20	315	38	88%	79%
5	20	0	0	18	19	306	51	89%	81%
6	20	0	0	18	20	327	32	91%	82%
7	20	0	0	18	22	354	42	89%	80%
8	20	0	0	18	21	328	33	87%	78%
9	20	0	0	18	19	313	29	92%	82%

10	20	1	0	18	21	334	42	88%	80%
11	20	0	0	18	20	332	44	92%	83%
12	20	0	0	18	20	326	44	91%	82%
1	20	0	0	18	19	294	66	86%	77%
2	20	0	0	18	18	295	36	91%	82%
3	20	0	0	18	21	317	41	84%	75%
合計	—	2	1	—	240	3,841	478	89%	80%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス電車	送迎車	合計
第一第二	24	18	6	6	12	67

⑧ 相談支援事業所

事業所名	第一	第二	合計
杉並障害者自立生活支援センターすだち	12	3	15
あおいサポートステーション	3	4	7
すぎなみ障害者生活支援コーディネートセンター（すぎこ）	3	2	5
株式会社 よりみち	4	1	5
相談支援事業所 HUG はぐ	5	0	5
障がい者ケアマネジメント友愛	1	0	1
済美福祉相談室	5	0	5
いたる相談室	3	1	4
ヘルプメイト関町相談支援部	0	3	3
キラキラステーション	5	1	6
スギコーケアセンター	2	0	2
相談支援事業所 かすみ草	2	0	2
相談支援事業所 リリーフ	0	1	1
Team. shien. team. shien. m. a	0	1	1
たんぼぼの会	0	1	1
未定（セルフ）	1	0	1
合計	49	18	67

⑨ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施 設移動	入所施 設移動	在宅	死亡	合計
第一第二	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4

⑩ 生活の場

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	41	25	1	67

- ⑪ ぜんち共済加入状況（平成31年3月31日現在）
加入者 97名（施設負担）

4. 事業実績

(1) 活動プログラム

公園清掃やリズム体操は年間のスケジュール通り行いました。1日クラブの行先については、利用者の希望を取り各所2回ずつ行ないました。ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・弁天橋東・泉南公園	104回
リズム体操 (講師招聘)	第一和泉	方南会館ホール・自施設	10回
	第一堀ノ内	自施設	10回
	第二方南	自施設	10回
一日クラブ	第一和泉	7月ゲーム・DVD鑑賞	41名
		11月外食・カラオケ	37名
	第一堀ノ内	9月外食・カラオケ 3月カラオケ	24名 21名
第二方南	9月外食・カラオケ	21名	
	12月東京タワー	22名	
音楽鑑賞	第一堀ノ内	6月ハンドベルコンサート（こすもす生活園）	17名

		10月歌のキャラバンコンサート	17名
		12月フルーツコンサート	17名
ワークショップ	第二方南	8月女子美術大学	20名

週間プログラム（10:30～と14:30～それぞれ10分間の休憩）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業
12:00～ 13:00	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
13:00～	作業	作業	作業	作業	作業
15:50～	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(2) 行事

宿泊旅行の行先については、朝礼や夕礼等を通じて利用者と話し合っ決定しました。いずみまつりでは、利用者ひとりひとり販売の仕事を時間制で行いました。新年会では、永年勤続賞、皆勤賞、精勤賞をそれぞれ授与し、成人者のお祝いを行いました。

項目	施設名	実施月・場所	参加人数
歓迎会（入所式）	3所	4月方南会館ホール	107名
宿泊旅行	第一和泉	6月 埼玉・群馬	40名
	第一堀ノ内	6月 山梨	20名
	第二方南	6月 群馬	22名
いずみまつり	3所	9月	238名
新年・新成人を祝う会	3所	1月方南会館ホール	96名

(3) 就労支援の取り組み

本年度の三者面談や個別面談により就労希望者を確認したところ、積極的な希望者がいなかったため実施には至りませんでした。

(4) 工賃アップの取り組み

第一和泉の自主生産品であるせんべいの作業工程を整備し、アレルギー対応のせんべいを新商品として開発しました。第一堀ノ内のビーズアクセサリは定番商品も決まり、売り上げも少しずつ上がってきています。第二方南は年末の展示即売会に限らず、年間を通しての注文が増えました。(以下に販売、工賃を記載)

【第一和泉】

自主生産作業：せんべい

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入、等

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

【第一堀ノ内】

自主生産作業：ビーズアクセサリ

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）

【第二方南】

自主生産作業：手織り、手染め、フェルトボール作り等

清掃作業：上水橋公園、弁天橋東公園、泉南公園（杉並区より受託）

【生産・販売全体状況】

① 施設外販売

日時	施設名	内容	売上
4月21日	第一 第二	わい！わい！わだまつり	68,246円
4月27日	第一	高円寺大道芸	15,000円
4月27日	第二	Tunagari walk in yokohama2018	5,200円
5月8日	第一	障害者のつくる品物フェア	30,550円
5月13～17日	第二	ハッピースマイルフェスタ（委託）	18,900円
5月14日	第一 第二	杉並区手をつなぐ育成会総会	27,600円
5月26日	第一	方南町日曜まつり	16,400円
6月10日～17日	第二	ハッピースマイルフェスタ（委託）	72,900円
6月23日	第一 第二	妙法寺夏のふれあい祭り	6,900円
7月4日	第一	障害者のつくる品物フェア	9,250円

7月7日	第二	ルミネ荻窪七夕ナイト	5,100円
7月16日	第一	福社会館夏まつり	8,050円
7月16日	第一	シャロームピアノコンサート(委託)	82,355円
7月28日	第一	福社会館夏まつり	19,600円
8月24日	第一	高円寺阿波踊り	110,550円
9月25日	第一	障害者のつくる品物フェア	4,500円
10月6日	第一第二	お会式一乗まつり	55,700円
10月7～11日	第二	ハッピースマイルフェスタ(委託)	31,500円
10月14日	第一	杉並スポーツフェスティバル	16,650円
10月19日	第一 第二	済美バザー	11,550円
10月19日	第二	しんゆりフェスティバル	8,550円
10月20日	第一 第二	すぎなみ舞祭	58,950円
10月26～27日	第二	女子美祭	105,550円
11月2～3日	第一 第二	すぎなみフェスタ	157,000円
11月11～15日	第二	ハッピースマイルフェスタ	117,900円
11月16日	第一 第二	すぎ実祭	32,100円
12月1日	第一	ふれあいフェスタ	55,425円
12月2～6日	第二	ハッピースマイルフェスタ(委託)	85,800円
12月4日	第二	障害者のつくる品物フェア	33,250円
12月13日	第二	アクセントクリスマスパーティー	34,700円
12月21日	第二	しんゆりフェスティバル	60,000円
1月20～24日	第二	ハッピースマイルフェスタ(委託)	29,600円
1月31日	第一 第二	障害者のつくる品物フェア	38,600円
2月17～21日	第二	ハッピースマイルフェスタ(委託)	32,100円
合計			1,444,871円

【工 賃】

【第一】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	53	52	606,364	11,661	26,486	2,056
5	60	53	53	463,967	8,754	24,472	365
6	60	53	52	367,540	7,068	21,122	223
7	60	52	52	403,417	7,758	19,084	1,379
8	60	52	52	469,258	9,024	24,472	816
9	60	52	52	914,479	17,586	37,476	2,769
10	60	51	51	480,395	9,420	22,083	816
11	60	51	51	447,796	8,780	27,943	220
12	60	51	51	468,545	9,187	29,969	241
1	60	51	51	347,317	6,810	22,860	934
2	60	49	50	338,921	6,778	16,079	392
3	60	49	49	1,483,666	22,898	72,044	5,000
合計			616	6,791,665	10,438		

【第二】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	18	18	134,615	7,479	13,820	1,980
5	20	18	18	137,470	7,637	13,280	2,200
6	20	18	18	125,070	6,948	11,540	2,000
7	20	18	18	155,760	8,653	14,730	3,040
8	20	18	18	137,710	7,651	12,260	2,200
9	20	18	18	440,175	24,454	153,570	5,310
10	20	18	18	156,020	8,668	14,400	2,560
11	20	18	18	162,650	9,036	15,300	3,040
12	20	18	18	150,725	8,374	13,515	1,760
1	20	18	18	130,130	7,229	13,480	1,430
2	20	18	18	132,595	7,366	12,860	880
3	20	18	18	694,765	38,598	153,890	3,000
合計			216	2,557,685	11,841		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年度初めの職員会議にて「職員倫理規定」および「杉並いずみサービスガイドライン」の読み合わせを行いました。また3ヶ月に一度職員会議の冒頭において、職員全員に「虐待防止セルフチェックリスト」の記入を行ってもらい、終了後に施設長より一つ一つ解説を行いました。利用者や職員の孤立を防ぐために、非常勤職員を多く採用し、基準以上の職員配置を行うことで死角を作らない体制を作りました。今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止や事故防止のための更なる強化のために支援体制を毎月の支援員会議にて話し合いました。研修報告を職員会議内で行いました。

(2) 虐待防止委員会

- ① 今年度は2回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。
- ② 職員チェックリストの実施（年3回）
- ③ ケース会議を実施。（毎月各所）
- ④ ヒヤリハットの分析としてリスクマネジメント委員会を実施（主任会議内）
(虐待防止責任者)

氏名	職種
関口 賢治	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	関口 賢治	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	大久保 江理子	主任支援員
委員	齋藤 朋子	主任支援員

(3) 苦情解決

利用者からの苦情解決実施要項により苦情解決責任者・苦情解決受付担当者を配置すると共に、職員会議にて確認し、職員の共通認識としました。また苦情の受付窓口について下記の内容を保護者に配布し、施設内にも掲示しました。また利用者には苦情解決第三者委員による施設の利用についての聞き取りを行い、保護者には苦情解決のしくみを理解してもらうために保護者会において説明しました。また、苦情・相談等受付書等を整備することで記録として残しました。

① 苦情解決体制

ア

役 割	氏 名	職 種
苦情解決責任者	関口 賢治	施設長
苦情受付担当者（第一）	大久保 江理子	主任支援員
苦情受付担当者（事務）	辻村 佳子	事務員
苦情受付担当者（堀ノ内）	大内 留美子	主任支援員
苦情受付担当者（第二）	齋藤 朋子	主任支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

苦情解決第三者委員 山本 松江 （連絡先）03-3315-7059

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 令和1年度苦情受付状況

特にありませんでした。

③ 苦情解決第三者委員 山本 松江さん訪問日時等

※利用者で65歳を超える方のみ三者面談の立ち会いを依頼しましたがスケジュールが合わず立会いませんでした。

6. 医務

(1) 健康管理

内科、耳鼻科、歯科は医師が来所し、眼科はバスをチャーターして利用者を医院へ連れて行きました。結果については個別に配布し対応しました。また、月初めには体重測定を行いました。

科 目	実 施 月	実 施 機 関	参加者
内科健診	9月	いりたに内科クリニック	66名
耳鼻科検診	9月	白い鳥医院	63名
歯科検診	1月	お口の介護相談室	61名
眼科検診	2月	おぎくぼ南口眼科	63名
施設健診	2月	高円寺保健センター	15名
予防接種 (職員含む)	10月	いりたに内科クリニック他	75名

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。

またインフルエンザ流行時において、職員は2名が感染、利用者から感染者はありませんでした。

- ① 施設内の清掃を1日1回行いました。
- ② 石鹼、液体石鹼を常備し、職員・利用者に手洗いとうがいを徹底しました。
- ③ インフルエンザ予防接種を希望者に行いました。

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット、事故報告をあげてもらいその日のうちに状況と対応を職員間で共有しました。また毎月の職員会議では3所の事故等の報告を行うと共に傾向と対応方法を確認しました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。

	誤飲	自傷	他傷	転倒	その他	ヒヤリ	合計
第一	0	1	43	5	8	4	61
第二	1	0	3	1	2	0	7
合計	1	1	46	6	10	4	68

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、運営会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などにおいては、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た方のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）の取り扱いについて、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行いました。

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画及び洪水時等の避難確保計画における自衛消防体制の組織を確認し、職員にも役割を掲示し周知しました。また、消防用設備点検を外部のメンテナンス・サービスに依頼しました。

(2) 避難訓練

【第一和泉】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	6月21日、12月13日

【第一堀ノ内】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	6月11日、12月24日

【第二方南】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	5月22日、12月16日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 第一・第一堀ノ内・第二合同 4回実施

13時～15時方南会館、セシオン杉並にて行いました。

日時	内容	参加人数
4月23日	施設長紹介、行事、販売予定、満足度調査結果等	32名
7月16日	行事予定、事業報告、施設状況等	23名
10月3日	行事、販売報告、工賃改定説明	23名
2月4日	行事、販売報告、施設、利用者状況等	26名

- ② 2月に「施設満足度アンケート」を実施しました。集計結果は令和2年3月の職員会議、4月のいずみ連絡会にて書面で配布し説明しました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 地域行事で自主生産品の販売の参加については、上記 4、事業実績「施設外販売」を参照。今年度も数多くの地域行事に参加しました。
- ② 地域の方と利用者との交流の機会については、販売先での交流や公園清掃、施設まつりに留まり、新たな交流の機会を設定できませんでした。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「しごとねっと」や「就労支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」「女子美大ワークショップ」「大学生の施設見学ツアー」等に参加し情報の共有を行いました。また、区内の就労移行施設の見学、情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者とは、定期的な電話連絡の他に必要に応じて施設内にてケース会議や個別面談、入院先でのケア会議など関わりを持つことが出来ました。

ウ. 「杉並区手をつなぐ育成会」とは、育成会発行の情報誌の発送作業・梱包を毎月施設内にて行うことが出来ました。また、育成会主催の一日外出やクリスマス会に参加しました。

② 特別支援学校、地元中学校との連携

年間で12名の実習生を受け入れました。特に都立永福学園2年生の実習を受け入れるなど新たな方向性などありましたが、新卒の入所には至りませんでした。地元中学校からの実習生を7名受け入れました。

③ グループホームとの連携

現在利用者25名がグループホームを利用中です。日々連絡帳にて情報交換を行いました。東京都手をつなぐ育成会のグループホーム担当の支援ワーカーとも定期的なケース会議を行い、情報交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人にも参加してもらいました。

④ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホームにおける支援ワーカーとの連携、都育成会新年会への参加、都育成会地域法人連絡会主催の研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長との人事・事業運営面での相談・協力など数多くの連携を行いました。

⑤ その他

- ・「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」という眼科医院の待合室壁面に第二の自主製品を展示させていただけることになりました。
- ・「株式会社マジョルカ」との販売委託契約更新を行いました。第二方南の自主製品の販売を委託しました。
- ・自主製品販売で杉並区内の障害者施設の施設まつりに複数参加しました。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

第一	第二	合計
1名	62名	63名

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
11名	44名	55名

③ 研修・実習受け入れ状況

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	1名	3名	4名
中学生実習	7名	0名	7名
高校生実習	1名	0名	1名
大学生実習	1名	0名	1名
在宅者	1名	0名	1名
合 計	11名	3名	14名

11. 会議・委員会

(1) 会議

会 議 名	回数	会 議 名	回数
職員会議(臨時含む)	12回	主任会議(臨時含む)	35回
第一和泉支援員会議	12回	第一堀ノ内支援員会議	12回
第二方南支援員会議	12回	工賃評定会議	2回
保護者連絡会	4回	研修報告(職員会議内)	12回

行事会議（職員会議内）	3回	事故報告（職員会議内）	12回
-------------	----	-------------	-----

(2) 委員会

会 議 名	回数	会 議 名	回数
リスクマネジメント委員会(主任会議内)	2回	虐待防止委員会（主任会議内）	2回
工賃規程改訂プロジェクト委員会	7回	広報委員会	6回

(3) 地域との連携

会 議 名	回数	会 議 名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会 (杉並区主催)	24回	杉並区障害者雇用支援 ネットワーク会議（杉並区主催）	4回
地域法人協議会研修委員会	8回	地域法人協議会自主製品部会	2回

1 2. 研修計画

(1) 研修実績

① 所外研修

実 施 日	研 修 内 容	主 催 者	人 数
6月7日	自閉症支援基礎講座	杉並区保健福祉部	2名
6月17日	中級中堅職員研修	東京都手をつなぐ育成会	2名
7月2日	第二回研修会	東京都手をつなぐ育成会	2名
7月11日	東京都手をつなぐ育成会大会	東京都手をつなぐ育成会	2名
7月25日	杉並区虐待対応研修	杉並区保健福祉部	1名
7月26日	自閉症支援基礎講座	杉並区保健福祉部	2名
8月6日	サポーターズカレッジ	東京都手をつなぐ育成会	1名
9月18日	知的障がい者施設のリスクマネージメント	地域法人協議会三多摩支部	1名
10月9日	人生を歩む？求められる支援とは	杉並区保健福祉部	3名
10月18日	地域法人実践発表会	東京都手をつなぐ育成会	4名
11月24,25日	全国手をつなぐ育成会熊本大会	全国手をつなぐ育成会	4名
12月12日	大学生に仕事を魅せるスキルアップ講座	杉並区保健福祉部	2名
12月17日	ご本人の表現をいかにくみ取るか	東京都手をつなぐ育成会	3名
12月18日	アンガーマネジメント	杉並区保健福祉部	2名
1月23日	魅力ある事業所づくり	地域法人協議会三多摩支部	2名
2月6日	自主製品ツアー	地域法人協議会三多摩支	2名

		部	
2月14.15日	箱根一泊研修・日中活動過ごし方改革	東京都手をつなぐ育成会	7名

② 所内研修

実施日	研修内容	講師等	人数
自主研修	サポーターズカレッジ研修	インターネット講義	30名
月1回	全職員ミーティング研修	グループで意見交換	30名

(2) 職員育成

人材育成については、個別面談をもとに研修希望を募りました。研修の実施については必ずしも希望の研修に参加できるに至ってはいませんが、毎月の職員会議を研修報告にあて、研修内容を日常の支援フィードバックする機会を設けました。所内研修においては新人職員が多いため基本的な内容を行いました。

(3) 大会参加

実施日	研修内容	主催者	人数
7月11日	都大会	東京都手をつなぐ育成会	2名
10月23、24日	全国大会（熊本）	全日本手をつなぐ育成会	4名

1.3. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 常勤を対象に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。
- ② 全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施。

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

相談受付の担当職員を設置して防止に努めた。研修参加にまでは至りませんでした。相談実績は各0件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェック制度の確立には至りませんでした。

(4) 次世代育成支援

- ① 各施設に主任を配置し旧運営会議を主任会議に改め週1回行うことで、現場管理者としての意識を高めると同時に将来に向け育成・教育を行いました。
- ② 施設祭り「いずみまつり」のときに来所を呼び掛け、職員の家族が来所しました。

1.4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を令和2年2月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「個別支援計画の内容」「行事の内容」「健康管理の内容」

「建物の広さ、清潔さ」「職員の態度」について回答を頂きました。

15. その他

(1) 広報活動

広報誌は季刊誌として年3回発行しました。

(2) 資金計画

- ・施設整備として、送迎車の経年劣化に伴う買換えを行いました。
- ・職員給与には処遇改善助成金の一部を活用しました。
- ・社会福祉法人東京都共同募金会様より、第一と第二に掃除機、を頂きました。

16. 決算

別紙